Fukushima
Venture Award
ふくしまベンチャー
アワード
2024

発行・福島県　商工労働部　産業振興課
〒960-8670
福島県福島市杉妻町2-16　西庁舎12階
TEL 024-521-7283
MAIL business@pref.fukushima.lg.jp

運営・福島民報社

2025年3月発行

Fukushima
Venture Award
ふくしまベンチャーアワード 2024

ひと、ひと、実現するふくしま

スタートアップの地 ふくしまの創造へ



最終選考会・表彰式

令和7年 1月9日[木]

民報ビル3階

Fukushima Venture Award ふくしまベンチャーアワード 2024

主催者挨拶

「ふくしまベンチャーアワード」は、福島県内において、新しいビジネスへの挑戦や、地域の社会的課題の解決に取り組む起業家を表彰する事業です。県内の起業の機運を高めるとともに、独自の産業を創出し、地域経済の活性化を図ることを目的としています。

12回目となる今回は、60者の応募がありました。書類審査・面談審査を実施し、9者が最終選考会（2025年1月9日：民報ビル）に臨み、熱意あふれるプレゼンテーションを披露しました。ファイナリストには表彰状のほか、12の企業や団体から寄せられた副賞、一般投票から選ばれたオーディエンス賞が贈呈されました。

また最終選考会・表彰式のあとには交流会も開催し、参加者同士、具体のビジネスマッチングに向け、活発に意見交換をしている姿が見受けられました。

本書では、「ふくしまベンチャーアワード2024」の受賞者をはじめ、応募いただいた起業家や過去の受賞者等を紹介します。

東日本大震災・原子力災害からの復興、さらにはその先の創生のステージに向けて、地域産業をけん引するスタートアップの裾野を拡大してまいります。福島の未来を切り拓く起業家たちのチャレンジをぜひ応援していただければ幸いです。

福島県産業振興課長



CONTENTS

ふくしまベンチャーアワード 2024 受賞者

最優秀賞	株式会社 Picto Care　代表取締役	田中亜利砂さん	4
優秀賞	株式会社 Ani-lience　代表取締役	實廣亜希子さん	6
優秀賞	リンクエフ株式会社　代表取締役	田村慎太朗さん	8
優秀賞	バイオソノ株式会社　代表取締役CEO	遠山　賢さん	10
特別賞	有限会社ちから寿し　フローズンちから工場責任者	佐久間美稀さん	12
特別賞	FindValue 株式会社　取締役 COO	大川　翔さん	13
特別賞	株式会社斉藤製作所　代表取締役	斉藤　洋平さん	14
特別賞	株式会社ニココ　代表取締役	中山　駿さん	15
特別賞	ふくしま果樹加工考案室　代表	高橋　健さん	16

副賞受賞一覧 …… 17

ふくしまベンチャーアワード 2024　最終選考会 …… 18

過去の受賞者

ふくしまベンチャーアワード 2023 ／ 2022 …… 19
2021 ／ 2020 …… 20
2019 ／ 2018 …… 21
2017 ／ 2016 …… 22
2015 ／ 2014 …… 23
2013 …… 24

1次審査通過者

ikoka CONDITIONING GYM　代表	栫井　大輝さん	25
	大越　雄太さん	25
ぬっきー農園　代表	大貫　和哉さん	25
株式会社カナLABO　代表取締役	金澤　等さん	25
株式会社カネバン　福島工場　金型課　課長	丸本孝太郎さん	26
訪問型介護美容　こころ庵	齋藤　美希さん	26
株式会社FiveStar　代表取締役	松本　淳さん	26
	村井真理奈さん	26

応募者一覧 …… 27

福島県内の起業等を支援している施設のご案内 …… 29

Fukushima Venture Award 2024
最優秀賞

株式会社Picto Care
代表取締役　田中（たなか） 亜利砂（ありさ）さん

副賞：グロウイングクラウド賞



ケアの『見える化』で介護の質向上へ! ピクトグラム+AIで効果的なケアを立案・実行し高齢者の健康寿命延伸へ

取り組み紹介

介護現場では、人材不足や業務負担増加による質の低下が懸念されています。国は日常生活動作（ADL）の評価を介護報酬に組み込みましたが、複雑な作業内容に忙しい現場では評価にかける時間が不足しがちです。株式会社Picto Careは、AIとピクトグラムを使って、日常生活動作を簡単に評価することができるアプリ「Picto-BI」を開発しました。アプリはADLスコアの変化を可視化することにも対応しています。介護スタッフが重症化予防意識を高めることにつながり、高齢者の健康寿命延伸にも寄与すると期待が寄せられています。アプリを通し、高齢者と介護者双方のQOL向上に貢献します。

「課題先進県」福島で実証、介護DXに挑む

田中さんはPicto Careを創業する前、病院や介護施設などで約10年間看護師として勤務してきました。そんな中で、患者さんに向き合う時間を事務仕事に取られがちになることを業界の課題と感じました。看護や介護といった専門家が利用者に向き合うことに専念できる環境を作りたいと強く思った田中さんは、現場を離れ大学院へ進学。その後、Picto Careを設立し、研究内容を生かしたアプリの開発を始めました。

介護業界の人手不足は深刻な問題です。特に福島県は、離職率が採用率を上回っています。人手不足やそれに伴う介護ケアの質の低下といった懸念の対策として、国は利用者の日常生活動作の定期モニタリング（ADL）を行う事業者には介護報酬を加算していますが、現場では評価に時間を取られることが負担になりがちです。

田中さんはいわば「課題先進県」でもある福島を実証地として、郡山市・南相馬市・広野町などの介護施設計8か所でのヒアリングと県内住民へのニーズ調査も実施。直接集めた声を基に、より高機能で使いやすいアプリの開発に成功しました。



住所　【本社】〒136-0072 東京都江東区大島8-39-22-131
【郡山支社】〒963-8023 郡山市緑町9-12 co-ba koriyama
電話　090-9308-4508
Eメール　a.tanaka@pictocare.com

HP　https://www.pictocare.com
創業　2024年9月
事業内容　ピクトグラムを用いた日常生活動作（ADL）評価アプリの開発・販売

特許出願中!業界初のピクトグラム表示によるADL評価

田中さんの開発したアプリ「Picto-BI」は、日常動作（食事・入浴・排せつなど）をピクトグラムで表示します。視覚的に理解できるので、今後増加が見込まれる外国人介護人材も簡単に評価可能です。また画面操作だけで評価が終わるため、従来の方法に比べて15%の時間削減を実現します。



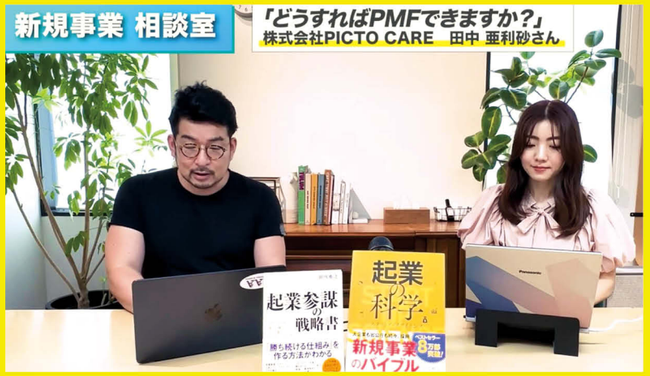
アプリの特徴はピクトグラムの使用だけにとどまりません。評価内容をAIで分析できる機能も搭載しています。日常動作の改善・悪化といった変化を可視化したレポートをAIが即時に作成するので、事務作業が減り業務効率化につながります。

「Picto-BI」が業務効率化をもたらすことで、スタッフ間のコミュニケーション向上や、選ばれる介護事業所になる為のブランディングの充実といった効果も期待できます。「介護現場が職員にとって働きやすい環境になれば、高齢者もより個人個人に適したケアを受けられるようになるはず。そうなれば、高齢者がいきいきと自立した生活を送れる社会の実現にもつながっていく」と田中さんは期待しています。介護をする側もされる側も、その両方がより良い生活を過ごせる社会をPicto Careは目指しています。

福島から全国、そして世界へ

福島県内各地での実証を進めてきた田中さん。これまでにもFukushima Tech Create2024や郡山インパクトスタートアップスタジオ2024など、福島県内の複数の起業支援プログラムに採択されてきました。そんな中今回アワードで最優秀賞を獲得し、事業の認知をより一層広めることができました。「福島県内で出会った事業家や起業を支えて下さる方々との関わりを通じて事業を大きく前進させられただけでなく、『地域に貢献したい』という思いも強く抱くようになった」と福島への想いを口にします。現在、田中さんは福島県内の介護事業所経営改善・人材獲得支援にも参画しています。自身の強みを生かした地域貢献を実践中です。そして受賞を機に、福島県外からも話を聞きたいという声が増えたということです。

最後に、田中さんはスリランカ出身の介護人材を雇用いただける施設を募っています。温かみのあるケアを提供すると評判のスタッフです。日本の介護現場にスムーズに適応するためのサポートもお任せください。



Fukushima Venture Award 2024 優秀賞

株式会社Ani-lience

代表取締役　實廣（じつひろ） 亜希子（あきこ）さん

副賞：HRM総合事務所賞



競走馬、家畜のベストコンディションを -ストレス、疲労度の迅速簡易測定による健康管理-

取り組み紹介

株式会社Ani-lienceでは、競走馬の疲労やストレスをうまくコントロールすれば、健康で長く活躍できるという仮説の元、疲労とストレスの度合いをだれでも簡単に測定できる試験紙型のキットを開発しています。競走馬関係者が馬の運動後に日々使用し、オーバートレーニングや休養管理、飼養計画の指標として活用されることを想定したキットです。馬の唾液と試験紙のみを用いる測定方法のため、専門知識や複雑な設備投資無しで馬の健康状態を知ることが可能です。現在、技術の確立と事業化に向けて南相馬市の相馬野馬追秋競馬に出場する馬を対象とする実証実験を重ねています。

競走馬のストレス軽減へ、新技術にかける想い

實廣さんは大学時代馬術部に所属し、4年間学生馬術に打ち込んできました。当時3頭の馬の世話などを担当していましたが、ある日その内の1頭を予兆もなく病気で亡くしてしまいます。今でも夢に出てくるほど脳裏に焼き付いているというこの経験は、人間が馬の健康を適切にチェックし管理することの難しさを實廣さんに印象付けました。しかし、それは同時に競走馬の健康をサポートする事業を志すきっかけにもなりました。

大学院を卒業し一般企業に勤める中、相馬野馬追があり馬が文化に根付いている南相馬でなら実証実験ができるかもしれないと思ったことから、実証実験開始の第一歩が始まりました。實廣さんは現在も企業に勤めながら、株式会社Ani-lienceとして事業を進めています。大学院で研究した、血液成分の分析から病気の早期発見につなげる生化学的測定手法を馬に応用させての事業化が目標です。

競走馬はその8割が胃潰瘍とされるほど強いストレスにさらされています。そんな競走馬に適切な健康管理を施せるようになることが、實廣さんの目指すビジョンです。



住　所　〒231-0012　神奈川県横浜市中区相生町3-60　泰生ビル311
Eメール　jitsuhiro@ani-lience.com
H　P　https://www.ani-lience.com

創　業　2024年5月
事業内容　競走馬のストレス、疲労度迅速簡易測定による健康管理事業

動物福祉と競馬の未来をつなぐイノベーション

競走馬が、レースを欠場することで生じる日本国内の経済損失はなんと111億円ともされています。また多少の不調があったとしてもレースに出ることが求められているという状況も、アニマルウェルフェアの観点が重視される現在では無視できるものではありません。實廣さんの事業のターゲットは競走馬の馬主を想定しています。自分の競走馬に長く活躍してほしいと思うのは馬主に共通しての願いであるのはもちろんのこと、既存の運動管理器具は高価なため、導入できずにいる厩舎も数多く存在しているためです。



技術の確立に向け、現在は南相馬市の牧場などと連携し実証実験を重ねています。 試験紙を使った測定の技術を検証することに加え、馬にとってより良い測定プロセスの開発も実験中です。「開発中の試験紙を実際に使い、 ストレスや疲労度をどのくらいの精度で測定できたら良いかなどを一緒に検討してくださる牧場様を探しています」と實廣さんは呼びかけています。

将来的には、この技術をウシなど家畜のストレスマネジメントと、ペットのストレス改善テクノロジーへの展開も目指しています。獣医師が不足する中でのサポートツールにもなると期待しています。

世界を見据えた挑戦、競馬界の新時代へ前進

実証実験に協力いただいた方々に実験の成果を改めて見ていただきたい、今後の実証先を増やすにあたり福島県内の牧場へ自社の取組をアピールしたいとふくしまベンチャーアワードに応募した實廣さん。受賞の喜びを自身のSNSで報告したところ、予想以上の反響が届いたそうです。2025年度は実証実験結果を基に資金調達を進め、2026年度の秋以降に日本全国の牧場や厩舎を対象としたテスト販売を展開していく予定です。

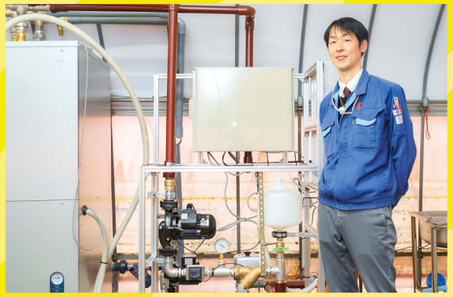
「ヨーロッパや北米では、既に従来の競走馬の繁養管理が見直されるようになってきており、日本にもいずれその流れが来るのは間違いない。私たちの技術には、日本や海外の競馬界に一気に受け入れられる可能性があると考えています」と實廣さんは冷静に語ります。2027年度後半からの試験キットの本格販売を目指し、これからも実証を積み重ねていきます。



Fukushima Venture Award 2024
優秀賞

リンクエフ株式会社
代表取締役　田村（たむら） 慎太朗（しんたろう）さん

副賞：福島放送賞



地中熱システムの新時代
『エコと収益』で普及を目指す
エネルギー＆ウォーターシステム

取り組み紹介

リンクエフ株式会社は、地下水を活用した地中熱システム「エネルギー＆ウォーターシステム」を開発しました。このシステムは、くみ上げた地下水と地中熱を効率的に利用することで、冷暖房費や水道代の削減につなげることが可能です。既存井戸がある場所では初期コストを抑えられるため、農業分野などをターゲットに想定しています。温度管理によって作物の栽培環境を整え、生産性の向上にも貢献します。また従来の地中熱システムと比べ地下水の使用量が約半分と、環境負荷を軽減できるのも特長です。このシステムの普及を通じて、環境問題の解決と地域社会の発展を目指しています。

地球にも経済にも優しい、進化した地中熱システム

田村さんは大学院修了後、プレス機械メーカーで開発職を経験しました。その後、2018年に日本大学工学部の研究員となり、地中熱システムの研究に携わりはじめます。しかし、導入コストの高さや冷暖房用途に限られる現状に課題を感じ、もっと実用的で使いやすい地中熱システムを作りたいと考えるようになりました。研究室の存続が難しくなったことをきっかけに、協力企業の後押しもあり、地中熱システムの開発・設計を手がけるリンクエフ株式会社を創業しました。

田村さんが開発した「エネルギー&ウォーターシステム」は、地下水を活用することで、冷暖房費の削減、水道代の節約、生産性向上といった付加価値を生み出す仕組みです。極力「掘らない」ことで導入コストを抑え、農業などの分野で経済的メリットを提供しながら、地中熱の普及を目指しています。

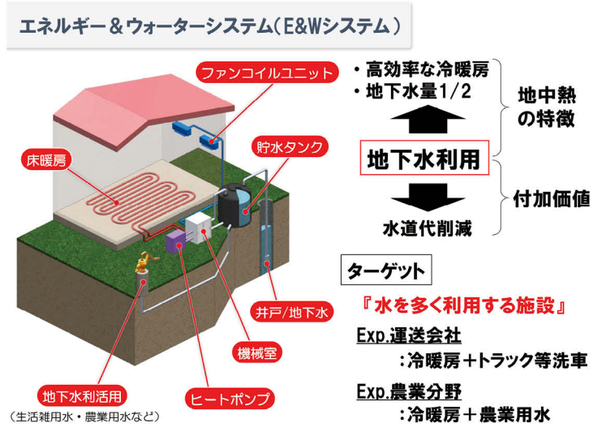
地中熱システムの普及は、エネルギー資源の有効活用だけでなく、SDGsの目標達成や地球温暖化対策にもつながります。田村さんは、技術と実用性を両立させたシステムを広め、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



住　所　〒963-1165　郡山市田村町徳定字中河原 1-1　インキュベーションセンター10号室
電　話　050-3707-8410
Eメール　tamura@linkf.jp
HP　https://link-f.net
創　業　2023年2月
事業内容　地中熱システム設備の開発・設計事業

地中熱で農業革新へ。進化する地中熱活用の可能性

リンクエフ創業後は、農業分野を中心に実証実験を重ねながら、地中熱の活用方法を広げる研究を続けてきた田村さん。日本大学工学部との産学連携での研究も実施し、システムの更なる可能性を見出すことに余念がありません。



ふくしまベンチャーアワードに応募したのは、自分の技術やアイデアがどのように評価されるのか試してみたいという思いからです。また、田村市のマッシュルーム農家でシステムの実証を行った際、地中熱の活用が省エネだけでなく、安定した温度管理による作物の品質向上にもつながることを実感しました。特に、地中熱を使った安定した温度管理による作物の品質向上が期待できます。さらに、湧水を利用することで水資源を有効活用し、ランニングコストの削減にも貢献できる点も大きな魅力です。こうした経験から、地中熱の新たな価値を広めたいと強く思うようになりました。

「地中熱はただのエネルギー技術ではなく、産業を支えるポテンシャルがあるんです」と田村さんは語ります。今回のアワードを通じて、より多くの人に地中熱の魅力を知ってもらいたいと考えています。

地中熱で広がる可能性、持続可能な社会を目指して

エネルギー&ウォーターシステムは令和7年4月からの本格販売を目指しています。より多くの農業現場に導入してもらうため、現場のニーズに寄り添った改良を重ねながら、導入のハードルを下げる工夫も進めていきます。

この成長を加速するために、農業総合センターや農業関係の大学と協力し、農業の専門的な知見を取り入れた技術開発を進めたいと考えています。また、農業資材・設備を扱うメーカーとの連携を通じて、本システムを農業に関わる人々にとって身近な選択肢にしていくことを目指しています。地中熱という言葉はまだまだ一般的ではありませんが、「地中熱が農業を救う」そんな未来を実現することが目標です。

「この技術が広がれば、農業だけでなく、さまざまな分野で新しい可能性が生まれる。そんな未来を福島から創り上げていきたい。」と意気込む田村さん。地中熱システムを使って環境も経済も持続可能な社会を実現するため、新たなパートナーとの出会いを求めています。



Fukushima Venture Award 2024 優秀賞

バイオソノ株式会社

代表取締役CEO 遠山（とおやま） 賢（けん）さん

副賞：テレビユー福島賞



ノドの音とAIで社会課題を解決するデジタル・ヘルス・プロダクト『食通（ショクツー）』

取り組み紹介

バイオソノ株式会社は、「生体音」と「音響分析AI」を活用し、高齢者の食事安全を支援するプロダクト『食通（ショクツー）』を開発しました。これは、喉の音をAIが自動観察し、食事中の食物残渣（ざんさ）の有無を判定するデバイスです。言語聴覚士の専門技術をAIで量産化することで、人手不足やコストの課題を解決し、「楽しく安全な食事環境」を提供します。

さらに、介護事業者の負担を増やすことなく、収益機会とコスト削減を両立するビジネスモデルも構築。2025年4月の正式サービスローンチに向け、準備を進めています。食事の安心と介護の未来を変える、画期的な製品です。

生体音×AIでセルフチェックをもっと身近に

遠山さんは、金融、ITサービス、流通、半導体、ヘルスケアと、それぞれ異なる業界での新規事業開発を経験してきました。5社を起業し、前職では小型ワイヤレス聴診デバイス事業を手がけました。そこで、生体音とAIを組み合わせることで、誰でも簡単にセルフチェックができる可能性があることを見出します。そして当時の事業をスピンアウトさせる形で、2022年にバイオソノ株式会社を設立しました。

従来の聴診は、医師の主観に基づいたあくまで診断のオプション的存在でした。しかし、AIを活用すればデータ解析による客観的で高精度なチェックが可能になり、より多くの人に高度なチェック機能を提供できるようになります。「これまで約200年間変わってこなかった聴診が、AIで進化する時代が来たんです」と語る遠山さん。設立以来、複数のアクセラレーションプログラムに参加して事業計画を進化させてきました。生体音を解析する音響分析AIの再現率は95%以上の目途がつきました。「誰でも、何処でも、安価で、素早く、簡単なセルフチェック」がついに実現します。



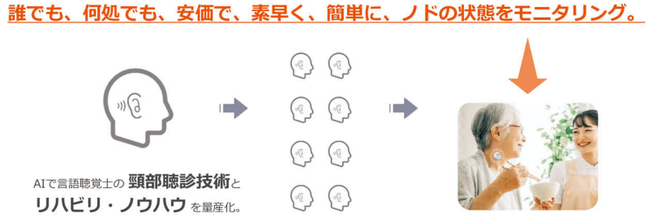
住所 〒984-0075 宮城県仙台市若林区清水小路6-1
電話 022-200-6390
Eメール info@biosono.jp
HP https://biosono.jp
創業 2022年10月
事業内容 食物残渣（ざんさ）の有無をAIでチェックするプロダクトの開発

安心をテクノロジーで支える、介護と食の新しいカタチ

「食通（ショクツー）」は、AIと生体音データを活用し、介護市場に特化した非医療機器として開発しました。エンドユーザーに介護事業者と歯科医院を想定しています。そこから要介護2以上の高齢者約253万人にアプローチし、介護をする、される方々が安心して食事を楽しめる社会の実現につなげます。かつ、導入コストを介護事業者らに負担させないビジネスモデルも構築し、より多くの現場への普及も目指しています。

バイオソノは、福島県の事業支援を受けながら成長してきました。これまでにFukushima Tech Create2023や令和6年度ふくしま産業応援ファンドなどのプログラムに採択されただけでなく、南相馬市に福島支店も開設。本店のある宮城県以上に、福島県とは濃厚な関係を築いてきました。ベンチャーアワードは「福島県浜通り地域における事業発展と地域産業復興に対し寄与する」という熱意を改めて表明する場でもありました。遠山さんは「福島から全国へ。高齢者も介護スタッフも、お互いに食事を安心して楽しめる未来を実現させていく」と力強く語ります。

言語聴覚士の技能をAI化。人不足&高コストを解決。



※ 言語聴覚士は、医療分野における従事業務がある為、仕事がなくなることはありません。

©2025 | Biosono Inc. All Rights Reserved.

浜通りでの製造も計画　今後の展望と福島からの飛躍を目指して

本格的に「食通（ショクツー）」の販売を開始するにあたり、特別養護老人ホームや公的介護保険の経口維持加算を取得可能な施設、食物残渣（ざんさ）の見落としに課題を抱える介護関連事業者らとの連携強化を進めたいと考えています。また、在宅被介護者を支える歯科医院や、バイタルデータビジネスに関心を持つ事業者とのアライアンスも求めています。食事に安心をもたらす本プロダクトに興味を持たれた方のご連絡をお待ちしています。

「受賞を機に、福島県と新たな縁を結ぶことができたのは大きな前進です」と目を細める遠山さん。今後は、福島県をはじめとする官公庁との協力も深め、自治体レベルでの導入も促進していきたいと考えています。

2026年には、浜通りに製造機能を設けることも予定しており、延べ500人の雇用創出と約500億円の経済波及効果を見込みます。これからの事業の成長拡大の実現に必要不可欠な、資金面のご支援者様も募集中です。新たな出会いを力に変え、バイオソノの挑戦は、より明るい未来へと続いていきます。



Fukushima Venture Award 2024 特別賞

有限会社ちから寿し
フローズンちから工場責任者 佐久間（さくま） 美稀（みき）さん

副賞：福島民報社賞、インビジョン賞

過疎化地域に指定された小さな町から産まれた「冷凍ちらし寿司」

住所	〒962-0203 須賀川市長沼字金町32
電話	0248-67-2623
Eメール	kuwana_ku@outlook.jp
SNS	（Instagram）@chikarasushi32
創業	1969年4月
事業内容	寿司店、冷凍寿司の製造･販売

CHIKARASUSHI32



取り組み紹介

ちから寿しは老舗寿司店としてお客さまに親しまれてきた中、多くの方に自慢の寿司を届けたいという思いから、冷凍寿司の製造・販売を新たに始めました。 近海の生マグロと福島県産米にこだわったお店の味をそのまま冷凍することに成功し、現在はECサイトを中心に、おいしさを閉じこめた冷凍ちらし寿司を全国へ販売しています。

過疎化地域の声から生まれた「冷凍寿司」開発の挑戦

人口5000人弱の須賀川市長沼地区で1969年に創業したちから寿し。高齢化が進み過疎化地域にも指定された長沼のお客様の「お店でお寿司を食べたいけれどお店に行けない」という何気ない一言から、いつでもどこでも食べられる冷凍寿司の開発を2023年に始めました。 試作を重ね、瞬間冷凍技術を使って寿司のおいしさをそのまま味わえる冷凍ちらし寿司を完成させました。開発後もさらなるリニューアルを重ね、味だけでなく食べやすさや購入しやすさを磨いています。

地元の恵みを活かし環境にも優しい冷凍寿司の未来

佐久間さんは、冷凍寿司は将来的に国内だけでなく海外にも進出できる可能性があると考えています。ちらし寿司には福島県産のお米と長沼の水を使用するなど地元の食材を使用しています。容器には環境に優しいとされるエコウッドを採用して環境負荷を下げ付加価値を高めています。鮮魚がご飯の上に乗っている冷凍のちらし寿司は全国的にも珍しいため、今後は常磐ものを使った冷凍寿司を開発するなどし、寿司を通して福島の魅力を全国に発信していきたいと意気込んでいます。

地域の魅力を届ける、佐久間さんの思いと展望



「冷凍寿司を世の中の多くの方に知ってもらいたい」という思いからふくしまベンチャーアワードに応募した佐久間さん。小さな地域にも魅力ある商品があることを発信できれば中小企業の可能性も広がっていけると考えています。受賞後は地元の方からのお声がけのほか、SNSを通じた反響もありました。今後は海外の日本食提供店への商談なども展開したいと夢を語っています。

Fukushima Venture Award 2024 特別賞

FindValue株式会社
取締役COO 大川（おおかわ） 翔（かける）さん

副賞：株式会社増山達也賞、オーディエンス賞

福島を、優秀な若者が日本で一番集まる県へ。地方に、優秀な若者が集まる国へ。

住所	〒963-8023 郡山市緑町9-12
電話	080-5731-0947
Eメール	find.value.7@gmail.com
HP	https://wearefindvalue.com
創業	2023年6月
事業内容	Z世代の採用～育成伴走支援･Z世代マッチング事業など



取り組み紹介

FindValueは地方中小企業向けの若手採用支援やAI活用支援事業を実施しています。今回、新たに次世代型企業ー学生カジュアル相談プラットフォーム「FindValue Students」を立ち上げました。企業が学生と直接確実に対話できる場を創出し、人材採用に悩む企業の課題解決につなげます。

「福島を変革する男」大川さんの情熱

自ら「福島を変革する男」を名乗り、熱い思いを行動につなげている大川さん。「福島には何もないから、地元には戻るつもりはないよ」そんな友人の一言が起業のきっかけでした。 福島の若い世代が、将来地元で働きたいと思えるような魅力的な会社を福島県内に増やしていきたいと決意し、企業の価値を高める支援を行うFindValueを創業。 採用コンサルティングや企業のブランドを「リメイク」する研修など、新しい事業に取り組み続けています。

企業と学生を対話でつなぐ新サービスをリリース

大川さんが新しく開始したのは、企業が学生の声を直接聴くことのできる場を創出する事業です。地方の中小企業では採用の前段階である「学生との接点づくり」に苦心するケースが多いと大川さんは実感していました。そこで、企業と学生をマッチングさせ、企業が若手の価値観に理解を深められるサービスを開発しました。 月額3万円で2名の学生に1時間ずつインタビューできるものです。2024年12月にβ版をリリースし、企業や学生の申込受付を開始しました。

β版リリース3週間で反響拡大。全国展開も目標に



β版のリリースから3週間で、50名以上の学生と20社以上の企業から申込があったと語る大川さん。「若年層の流出という、福島と同じ課題を持っている地域やエリアは多い。福島発ベンチャーとして、まずは東北を中心にサービスを広げ、全国展開も目指していく」と瞳を輝かせます。正式版の展開に向け、事業を共創するさまざまな分野のパートナーを募っています。

Fukushima Venture Award 2024 特別賞

株式会社斉藤製作所
代表取締役　斉藤（さいとう） 洋平（ようへい）さん

副賞：PR TIMES賞

ふくはぐ福島 グラノーラプロジェクト



住所	〒963-7721 三春町蛇沢字北ノ内112-1
電話	050-6869-6024
Eメール	info@saitouseisakuzyo.com
HP	https://saitouseisakuzyo.com
創業	2021年10月
事業内容	製造業・小売業

取り組み紹介

斉藤製作所は生産者のストーリーを大切にした商品開発を行っています。 地元福島の豊かな農産物や、食品加工の過程で生じる副産物を活用し、地元の課題解決と新たな価値提供を目指すのが「ふくはぐ福島グラノーラプロジェクト」です。地元生産者を支援しながら、健康志向の消費者のニーズも満たすグラノーラを開発しました。

地域素材を無駄なく活用、どこでも食べられる新グラノーラ

「福島県の地域資源を活用した持続可能な商品を開発し、地域の魅力を発信していきたい」という思いを持っていた斉藤さん。 規格外フルーツやクラフトビールの製造工程で生じる麦芽かすなど地元の素材を組み合わせて栄養豊富なグラノーラに仕上げる事業を始めました。グラノーラ=朝食という固定観念から脱却したどこでもそのままで食べられる小分けのチップスタイルのグラノーラを完成させました。クラウドファンディングを活用し、販売と宣伝を開始しています。

福島の味をヘルシーに楽しめる一品を開発

ビール醸造に欠かせない麦汁。麦芽から麦汁を絞った後に残るのが麦芽かすですが、あまり活用が進んでいませんでした。「麦芽かすには小麦の12倍の食物繊維が含まれていますが、炭水化物量は小麦の3分の1なんです」と語る斉藤さん。提携するビール工場と協力し、グラノーラに適した加工に成功しました。その他の材料にも福島の産品を使用し、ブルーベリー味・いかにんじん味・さるなし味と3種のグラノーラを開発。福島を感じ、味わえる商品と胸を張ります。

三春町発「地域産業×現代生活」で販路拡大を目指す



三春町を拠点とする斉藤製作所が掲げるのは「地域産業×現代のライフスタイル」というビジョンです。今後は特産品を扱う小売店やECとの連携を深めて販路を広げつつ、パッケージにも持続可能な素材を使ってより環境に配慮した商品づくりを展開したいと夢を広げています。受賞を機に応援の声や問い合わせが増え、事業への期待の高まりも実感しています。

Fukushima Venture Award 2024 特別賞

株式会社ニココ
代表取締役　中山（なかやま） 駿（しゅん）さん

副賞：福島民友新聞社賞、浅野撚糸賞

東北初の玩具のレンタルサブスク事業「コネキン」



住所	〒979-1111 富岡町小浜471 エアリーヒルズI-102
電話	0240-22-5611
Eメール	info@nicoco.co.jp
HP	https://nicoco.co.jp
創業	2023年2月
事業内容	玩具のレンタルサブスク事業

取り組み紹介

玩具のレンタルサブスクリプション事業「コネキン」を、浜通りエリアを中心に展開しています。東北の事業者では初めての事業です。施設や個人のご家庭に向け、お客さまごとにパーソナライズした玩具のセットを月替わりでレンタルしています。子どもたちへさまざまな楽しみや経験をお届けし、利用者にはより経済的なサービスとなっています。

成長に合わせた玩具を貸し出し、子育て負担の軽減へ

富岡町出身の中山さん。地元で教育業での起業を志し、注目したのは人間が初めて触れる教育器具である玩具でした。子どもには成長に合わせた玩具が必要なため、買い替え速度が速い特徴があります。そんな子育ての経済的負担を軽減できればと玩具のサブスク事業を考案しました。福島は東日本大震災と原発事故の影響で、屋内で子どもが遊べる施設が増えたことにも目を向け、家庭向けのレンタルだけではなく室内遊技場や保育園といった法人施設へのレンタルも展開しています。

子どもから高齢者まで対応、玩具レンタルの拡大

単価が高くなりがちな玩具ですが、中山さんが顧客に貸し出す玩具の総額は月額料金の約3倍です。 お子様に合わせパーソナライズした玩具を貸与するだけでなく、万一の破損への補償も無償です。家庭向けプランは保育士の監修も入っています。また玩具は高齢者の認知症予防や運動能力の維持向上にも使用されることから、高齢者施設向けのシニアプランも新設しました。現在は浜通りを中心に事業展開していますが、県内全域や全国への展開も目指しています。

玩具で築く明日へ　ニココが目指す全国展開ビジョン



ニココのスローガンは「おもちゃでつなげる ひとをつなげる」です。多様な玩具を地域全体に提供することで子育てなどの負担を軽減させ、子育て世代などの移住定住の促進にもつながればと期待しています。これからはシニア向けプランの拡充にも力を入れ、高齢者施設などとの連携も深めていく予定です。 協力いただける企業などを募集しています。

Fukushima Venture Award 2024 特別賞

ふくしま果樹加工考案室
代表 高橋（たかはし） 健（けん）さん

副賞：東邦銀行賞、栗林利紗公認会計士事務所賞

福島の美味（おい）しいフルーツを もっと身近に手軽に

住　所	〒960-0622 伊達市保原町字市柳町5-1
電　話	090-3223-2072
Eメール	takahashi-ken@e-mail.jp
S N S	（Instagram）@fukushima_kajyuko
創　業	2021年1月
事業内容	フルーツ加工品の企画･製造及び販売業

FUKUSHIMA_KAJYUKO



取り組み紹介

高橋さんは福島市飯坂温泉の地域資源である果物を活用した新たな商品開発による、地域経済の活性化と観光客誘致を目指しています。具体的には農家様の加工品づくりの支援、地元食材を使った飲食店向け食材の開発、ジャムづくりなど体験プログラムの企画運営、果物加工技術を提供しての地元メーカーとの協業に取り組んでいます。

飯坂温泉が抱える課題の解決と地域活性化を目指して

飯坂温泉出身の高橋さんは、地元がかつての賑わいを失っている現状に危機感を覚えました。地元に戻ることを決め、務めていた運輸会社を退職。飯坂温泉は観光業と果樹などの農業で成り立っていると考え、果樹農家の頭を悩ませる規格外フルーツを使った新たな観光の目玉ができれば、地元の問題を二つ同時に解決できると起業を志しました。2019年に地元建設会社の社内起業として食品加工を開始。2021年に「ふくしま果樹加工考案室」として独立･創業しました。

フルーツによる持続可能な循環型経済の実現へ

高橋さんはニーズに合わせたきめ細やかな商品開発ができることを強みとしています。少量の加工も得意とします。これまでに酒造とタイアップした苺のクリアシロップや、桃を使った辛み調味料「ももスコ」など多彩な商品を開発してきました。規格外フルーツを使った新たな加工品を開発することが、地元農家の収入アップにもつながると期待しています。「地元で生産･加工･販売･消費が完結する循環型経済を構築し、持続可能な地域社会を実現したい」と夢を語ります。

連携を広げ、フルーツ加工事業を強化



受賞を機に多くの応援が届いたという高橋さん。「私たちのファンがたくさん居ると思うと、とてもうれしく励みになる。多くの方にフルーツ加工へ興味を持ってもらいたい」と期待しています。飯坂温泉の観光プラン開発に共に取り組む旅行会社やオンライン販売の強化を支援するIT企業、新商品を共同開発する県内食品メーカーなどを新しい事業パートナーとして募集しています。

副賞受賞一覧

ふくしまベンチャーアワード2024では、多くのご協賛をいただきました。（順不同）



東邦銀行賞
提供：東邦銀行
内容：商品券（3万円分）
ふくしま果樹加工考案室　代表　高橋　健



福島民報社賞
提供：福島民報社
内容：商品券（3万円分）
有限会社ちから寿し
フローズンちから工場責任者　佐久間 美稀



福島民友新聞社賞
提供：福島民友新聞社
内容：デジタルアーカイブ利用権1ヶ月分
株式会社ニココ　代表取締役　中山　駿



福島放送賞
提供：福島放送
内容：商品券（3万円分）
リンクエフ株式会社　代表取締役　田村 慎太朗



テレビユー福島賞
提供：テレビユー福島
内容：商品券（3万円分）
バイオソノ株式会社　代表取締役CEO　遠山　賢



HRM総合事務所賞
提供：社会保険労務士法人HRM総合事務所
内容：賞金3万円
株式会社Ani-lience　代表取締役　實廣 亜希子



栗林利紗公認会計士事務所賞
提供：栗林利紗公認会計士事務所
内容：財務相談権（60分間）
ふくしま果樹加工考案室　代表　高橋　健



株式会社増山達也賞
提供：増山達也
内容：オンラインメンタリング権（60分間×3回）
FindValue株式会社　取締役COO　大川　翔



グロウイングクラウド賞
提供：一般社団法人グロウイングクラウド
内容：コワーキングスペース「co-ba koriyama」1年間利用権
株式会社Picto Care　代表取締役　田中 亜利砂



浅野撚糸賞
提供：浅野撚糸
内容：タオルセット（2万円分）
株式会社ニココ　代表取締役　中山　駿



PR TIMES賞
提供：PR TIMES
内容：PR TIMES 6か月間の無償利用権
株式会社斉藤製作所　代表取締役　斉藤 洋平



インビジョン賞
提供：インビジョン
内容：企業･地域情報発信メディア「ダシマス」1回掲載権
有限会社ちから寿し
フローズンちから工場責任者　佐久間 美稀



オーディエンス賞
内容：ふくしまベンチャーアワードゆかりの県産品
FindValue株式会社　取締役COO　大川　翔

最終選考会

2025年1月9日（木）、福島市の民報ビルにおいて、ふくしまベンチャーアワード2024の最終選考会が行われました。

今回、12回目を迎えるふくしまベンチャーアワードには、60者から応募がありました。このうち20者が1次審査（書類）を通過。さらにその後行われた2次審査（オンライン面談）で20者のうちから最終選考会に進むファイナリスト9者が選ばれました。

最終選考会では、9者がプレゼンテーションでビジネスにかける思いなどを熱く語りました。その結果、株式会社Picto Care代表取締役の田中亜利砂さん（東京都）が最優秀賞（福島県知事賞）に輝きました。

表彰式では、最優秀賞のほか、優秀賞、特別賞、企業・団体12社から提供された企業賞、人気投票で決まるオーディエンス賞が発表、表彰されました。交流会も行われ、ファイナリスト9者が来場者と名刺交換するなど、親睦を深めました。



過年度最優秀者トークセッション

◆パネリスト
2018年度最優秀賞　一般社団法人 fukucier 代表理事　小林しのぶ氏
2023年度最優秀賞　株式会社家守舎桃ノ音 代表取締役　上神田健太氏

◆コーディネーター
株式会社MAKOTO WILL（現：株式会社全力優）執行役員　島　征史氏

表彰・受賞特典

◆最優秀賞（知事賞）賞状･賞金20万円
◆優秀賞 賞状･賞金5万円
◆特別賞 賞状　◆企業賞　◆オーディエンス賞

審査員

西会津町 CDO（最高デジタル責任者）	藤井　靖史氏
スパークル株式会社 代表取締役	福留　秀基氏
株式会社クリフ 代表取締役	石山　純恵氏
独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北本部 企業支援部長	松尾　伸一氏
東北経済産業局 地域経済部 産業技術革新課長	伊藤ひろみ氏
株式会社東邦銀行 公務･地域商社事業課長 兼 相双新産業推進室長	村上　崇広氏
福島県 商工労働部 産業振興課長	髙橋　裕一氏










過去の受賞者

2023

2024年1月11日（木）　民報ビル
応募総数：43件（うち、ファイナリスト9名）

最優秀賞	株式会社家守舎桃ノ音 代表取締役	上神田健太氏
優秀賞	株式会社ナガヨシ 代表取締役	金子　弘行氏
		川端　瞭英氏
	株式会社キノシタコーポレーション 代表取締役	木下　秀之氏
特別賞	株式会社エシカル郡山 ReSTAR プロジェクトマネージャー	髙橋　慶香氏
	ベリーズパーク郡山 ブルーベリーコンシェルジュ	城　清里仲氏
	トレカスタート　代表	保田井悠希氏
	起業サークル（日本大学工学部）会長	菅原　由騎氏
	株式会社ギャクサン 代表取締役	山子　顕氏



審査員

西会津町 CDO（最高デジタル責任者）	藤井　靖史氏	独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北本部 企業支援部長	小村　幸男氏
スパークル株式会社 代表取締役	福留　秀基氏	株式会社東邦銀行 公務･地域商社事業課長	村上　崇広氏
株式会社クリフ 代表取締役	石山　純恵氏	福島県 商工労働部 産業振興課長	小松　利顕氏

2022

2023年1月12日（木）　民報ビル
応募総数：74件（うち、ファイナリスト9名）

最優秀賞	トレ食株式会社 代表取締役	沖村　智氏
優秀賞	株式会社ラニット 代表取締役	高橋　彩水氏
	株式会社いなびし 代表取締役	長友　海夢氏
	日本大学工学部 教授	中野　和典氏
特別賞	Ichido株式会社 代表取締役	渡邉　優翔氏
	株式会社 tayo 代表取締役	熊谷　洋平氏
	Automobile store Anu 代表	斎藤なつみ氏
	珈琲焙煎所ぼうし オーナー	坪井　敦氏
	一般社団法人モクティ倶楽部 代表理事	根本　昌明氏



審査員

西会津町 CDO（最高デジタル責任者）	藤井　靖史氏	独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北本部 企業支援部長	小村　幸男氏
スパークル株式会社 代表取締役	福留　秀基氏	経済産業省東北経済産業局 地域経済部 産業技術革新課長	油川　一義氏
株式会社クリフ 代表取締役	石山　純恵氏	福島県 商工労働部 産業振興課長	小松　利顕氏

過去の受賞者

2021

2022年1月20日（木）　ホテルサンキョウ福島
応募総数:62件（うち、ファイナリスト9名）

最優秀賞	株式会社バイオマスレジンホールディングス 取締役副社長	中谷内美昭氏
優秀賞	vivola株式会社 代表取締役CEO	角田夕香里氏
	合同会社ねっか 代表社員	脇坂　斉弘氏
	株式会社hakken 代表取締役	竹井　淳平氏
特別賞	アルファ電子株式会社 専務取締役	樽川千香子氏
	株式会社アルゴロマン 代表取締役	沖野　昇平氏
	サイトセンシング株式会社 代表取締役	平林　　隆氏
	株式会社介祉塾 代表取締役	砂　　亮介氏
	株式会社ケイリーパートナーズ 代表取締役/COO	鷲谷　恭子氏



審査員

西会津町CDO（最高デジタル責任者）	藤井　靖史氏
株式会社エフコムホールディングス 代表取締役社長	酒井　良信氏
株式会社MAKOTOキャピタル 代表取締役	福留　秀基氏
経済産業省東北経済産業局 地域経済部 産業技術革新課長	三瓶　綾子氏
独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北本部 企業支援部長	小村　幸男氏
福島県 商工労働部 産業振興課長	鈴木　慎也氏

2020

2021年1月28日（木）　ホテル福島グリーンパレス
応募総数:54件（うち、ファイナリスト9名）

最優秀賞	株式会社リビングロボット 代表取締役	川内　康裕氏
優秀賞	株式会社ハンドレッド 代表取締役	栢本　直行氏
	株式会社 FaBo 代表取締役	佐々木　陽氏
	株式会社haccoba 代表取締役	佐藤　太亮氏
特別賞	Kokage Kitchen 代表	大島　草太氏
		近藤　拓馬氏
	株式会社オーダーメイドジャパン 代表取締役社長	中野　友登氏
	株式会社ホップジャパン 代表取締役	本間　　誠氏
	情報整備局　代表	和田　晃司氏



審査員

会津大学 産学イノベーションセンター 客員准教授	藤井　靖史氏
会津電力株式会社 代表取締役社長	山田　　純氏
経済産業省東北経済産業局 地域経済部 産業支援課長	三瓶　綾子氏
独立行政法人中小企業基盤整備機構 創業・ベンチャー支援部 創業担当参事	岡田　恵実氏
株式会社和える 代表取締役	矢島　里佳氏
株式会社MAKOTO キャピタル 代表取締役	福留　秀基氏
福島県 商工労働部 産業創出課長	堀江　直宏氏

過去の受賞者

2019

2020年1月27日（月）　ホテル福島グリーンパレス
応募総数:21件（うち、ファイナリスト8名）

最優秀賞	あだたらのちち株式会社 代表	千葉　清美氏
JBIA賞	合同会社猫のてコミュニケーションズ 代表社員	井上　昌宏氏
優秀賞	株式会社step up group 代表取締役	野口　　亮氏
	Rainbow Moon -虹月- 代表	宮谷　理恵氏
特別賞	株式会社クリプトメリアギガンデア 代表	大谷　志保氏
	株式会社benefic 代表取締役	小林　　聖氏
	株式会社コヤギファーム 代表	三本松貴志氏
	株式会社会津野菜 代表取締役	永井　洋彦氏



審査員

会津大学 産学イノベーションセンター 客員准教授	藤井　靖史氏
一般社団法人JBIA 会長	星野　　敏氏
株式会社追分 代表取締役	追分　拓哉氏
経済産業省東北経済産業局 地域経済部 産業支援課長	三瓶　綾子氏
社会保険労務士法人HRM総合事務所 代表社員	奥瀬　　円氏
福島県 商工労働部 産業創出課長	宍戸　陽介氏

2018

2019年1月22日（火）　クーラクーリアンテサンパレス（旧サンパレス福島）
応募総数:28件（うち、ファイナリスト7名）

最優秀賞	一般社団法人fukucier 代表理事	小林しのぶ氏
JBIA賞	合同会社WATASI JAPAN 代表社員	名和　淳子氏
優秀賞	福島SiC応用技研株式会社 代表取締役	古久保雄二氏
	2Hours 代表	鷲谷　恭子氏
特別賞	株式会社磐城高箸 代表取締役	髙橋　正行氏
	株式会社LANTAS 代表	橋本　　剛氏
	株式会社キャンディきっず 代表	山野辺みゆき氏



審査員

会津大学 客員准教授	藤井　靖史氏
一般社団法人JBIA 会長	星野　　敏氏
株式会社追分 代表取締役	追分　拓哉氏
社会保険労務士法人HRM総合事務所 代表社員	奥瀬　　円氏
経済産業省東北経済産業局 地域経済部 産業支援課長	中野かおり氏
福島県 商工労働部 産業創出課長	宍戸　陽介氏

過去の受賞者

2017

2018年2月14日（水）　サンパレス福島
応募総数：29件（うち、ファイナリスト6名）

最優秀賞	シニアリンク・コミュニケーション株式会社 代表取締役	遠藤　康弘氏
優秀賞	株式会社日本遮蔽技研 founder	平山　貴浩氏
特別賞	株式会社dreamLab 代表取締役	小川　智美氏
	合同会社楽膳 代表社員	大竹　愛希氏
	合同会社きのわ 代表社員	成田　能人氏
	パーソナル・ライフパス・ブック株式会社 代表取締役	吉井　淳治氏



審査員

会津大学 准教授　藤井　靖史氏
株式会社オービックビジネスコンサルタント 広域営業ブロック 部長　石原　徹氏
株式会社ドリームインキュベータ シニアマネジャー　田上　和宏氏
株式会社東邦銀行 法人営業部公務・地域振興室長　石川　淳一氏
福島県 商工労働部 産業創出課長　吉田　和史氏

2016

2016年11月13日（日）　ホテルサンルートプラザ福島
応募総数：17件（うち、ファイナリスト6名）

最優秀賞	株式会社ウェブレッジ 代表取締役	佐藤　保氏
東邦銀行賞	株式会社 Grune 代表取締役	山下　敏義氏
特別賞	株式会社 GNS 常務取締役	廣田　拓也氏
	自然食品ばんだい 代表	瓜生　和徳氏



審査員

公立大学法人会津大学産学イノベーションセンター 准教授　藤井　靖史氏
株式会社地域経済活性化支援機構 地域活性化支援部 マネージャー　山下　翔氏
NECソリューションイノベータ株式会社 主席プロフェッショナル　舘田あゆみ氏
株式会社東邦銀行 法人営業部長　渡邉　貴志氏
福島県 商工労働部 産業創出課長　吉田　和史氏

過去の受賞者

2015

2015年12月1日（火）　コラッセふくしま多目的ホール
応募総数：32件（うち、ファイナリスト7名）

最優秀賞	株式会社コンセプト・ヴィレッジ 代表取締役	馬場　大治氏
優秀賞	株式会社アクトモア 代表取締役	菅原　弘治氏
特別賞	着物リメイクRin 代表取締役	鈴木ひろみ氏
	株式会社小高ワーカーズベース 代表取締役	和田　智行氏



審査員

株式会社ビーエイ 代表取締役社長　加藤　博敏氏
一般社団法人MAKOTO 代表理事　竹井　智宏氏
Google株式会社 防災・復興プロジェクト プログラムマネジャー　松岡　朝美氏
株式会社東邦銀行 法人営業部公務・地域振興室長　角田　敦氏
福島県 商工労働部 産業創出課長　林　千鶴雄氏

2014

2014年11月21日（金）　いわき産業創造館企画展示ホールA（LATOV6階）
応募総数：23件（うち、ファイナリスト8名）

金　賞	株式会社向山製作所 代表取締役	織田　金也氏
銀　賞	株式会社IIE 代表取締役	谷津　拓郎氏
銅　賞	かーちゃんの力 プロジェクト協議会 会長	渡邊とみ子氏
	株式会社Plainnovation 代表取締役	菅家　元志氏



審査員

東洋システム株式会社 代表取締役　庄司　秀樹氏
株式会社クリフ 代表取締役　石山　純恵氏
東日本国際大学 経済情報学部 教授　福迫　昌之氏
株式会社日本政策金融公庫 福島支店国民生活事業 融資課長　押目　竜一氏
福島県 商工労働部 産業創出課長　林　千鶴雄氏

過去の受賞者

2013　2013年11月29日（金）　いわき産業創造館企画展示ホールA（LATOV6階）

スタートアップ部門（創業5年以内）

金　賞	株式会社夜明け市場 取締役	松本　丈氏
銀　賞	特定非営利活動法人Lotus 理事長	山口　巴氏
銅　賞	株式会社磐城高箸 代表取締役	高橋　正行氏
奨励賞	効率総合研究所 代表	渡辺　修守氏

グロース部門（創業6年から10年以内）

金　賞	株式会社クリフ 代表取締役	石山　純恵氏
銀　賞	特定非営利活動法人Commune with 助産師 理事長	草野祐香利氏
銅　賞	楽・農・人ゆうゆうファーム 代表	丸山　雄三氏



審査員

東日本国際大学 経済情報学部 教授　福迫　昌之氏
東洋システム株式会社 代表取締役　庄司　秀樹氏
株式会社日本政策金融公庫 福島支店 国民生活事業 融資課長　弥勒院聰秀氏
日本ビジネス・インキュベーション協会 副会長　西岡　孝幸氏
福島県 商工労働部 産業創出課長　菅原　晋也氏



1次審査通過者

応募総数60件の中から1次審査（書類選考）を通過された皆さんを紹介します。
（掲載辞退された方を除く）



医療従事者による医療×運動サポートで福島県を健康県民へ!

椿井（かこい）さんは柔道整復師としての経験を活かし、完全予約制のセミパーソナル形式かつ、いわき市初のストレッチマシンとオリジナルトレーニングメニューを導入したikoka CONDITIONING GYMを開設しました。「鍛えるだけではなく、身体のバランスを整える」ことを目的に、女性や中高年層を中心に運動指導をしています。医療従事者がトレーナーを務め、医療の観点から健康サポートしています。地域の健康意識向上を目指し、県民に適したサービス展開を進めていきます。

ikoka CONDITIONING GYM　代表　椿井 大輝さん

住　所　〒970-0101 いわき市平下神谷字南一里塚1-1
電　話　070-5551-9582
Eメール　ikoka.cg@gmail.com
H　P　ikokaikoka.com
創　業　2024年6月
事業内容　柔道整復師による医療×運動サポート



稲を繊維作物として最適化していくと、何個か社会課題を解決できる

大越さんは、郡山市のスモールスタート支援事業やこおりやまSDGsアクセラレータープログラムの支援の下、稲を繊維作物として活用するための栽培実験や試作品製作などを行っています。稲から生まれる天然繊維は糸、紐、布、断熱材など幅広い活用先が見込まれます。副産物は粗飼料としても利用可能です。大越さんの取り組みは日本の農業や畜産業、繊維産業が同時に発展でき、地域を元気にできる事業として注目を集めています。

大越 雄太さん

住　所　郡山市田村町
Eメール　y.ohkoshi.rp2020@gmail.com



耕作放棄地から福島の未来を育む「ミネラルふりかけ」

大貫さんは、自然農を活用して耕作放棄地を利用した栄養価の高い野菜の栽培を行う「ぬっきー農園」を運営しています。子ども食堂での経験を通じ、栄養不足が子どもの情緒や健康に影響するのではと考え、手軽に栄養補給できる「ミネラルふりかけ」を考案しました。ふりかけに使う栄養価の高い野菜の生産と試作品作りに自ら取り組み、福島の子どもたちの健康促進と学力向上を目指し、今後の事業拡大を計画しています。

ぬっきー農園　代表　大貫 和哉さん

住　所　会津若松市
電　話　080-5558-2280
Eメール　rakudoku.aizu@gmail.com
創　業　2022年4月
事業内容　自然農・6次化



福島から世界へ発信「25年以上の耐久性のある異種材料の分子レベル接着技術」で全ての機器の軽量化

金澤さんは福島大学教育学部在職中、「プラスチックの吸水性化」で特許を取得しました。理工学類に移り、技術改良に努めてきました。退官後、カナLABOを立ち上げ、「接着不可能な材料を分子レベルで接着できるように変える技術」をビジネスとして展開しています。多くの企業からの問い合わせ、試作依頼を受けました。本技術を使って自動車の軽量化に取り組むなど、技術を磨き上げてさまざまなニーズに応えられるように研究を進めています。

株式会社カナLABO　代表取締役　金澤　等さん

住　所　〒960-2156 福島市荒井字原田28
電　話　024-594-2535
Eメール　hkana77@gmail.com
H　P　https://kana-labo-jp.com/wp/
創　業　2019年4月
事業内容　新規材料の開発

次のページへ続きます ⇨

1次審査通過者

応募総数60件の中から1次審査（書類選考）を通過された皆さんを紹介します。
（掲載辞退された方を除く）

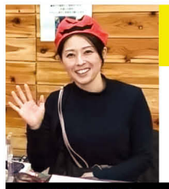


「福島県をバイオマスプラスチックの聖地に」植物残渣（ざんさ）由来（福島県産もみ殻等）バイオマスプラスチックを原料としたバイオマストレーの製品化

カネバン福島工場では、福島県で大量に生じるもみ殻・木材・貝殻などを活用した「ボタニカルメッセージトレー」を開発しました。環境負荷の少ない製品として地域循環型社会に貢献し、障がい者アートも取り入れて福祉支援にも寄与できます。学校・企業食堂・観光地などでの活用を想定しており、土地ごとの魅力を発信するツールとしても期待されています。福島の復興を支える新たな製品として、今後さらなる普及を目指しています。

株式会社カネバン　福島工場　金型課　課長　丸本 孝太郎さん

住　所　〒963-7827 石川町新屋敷長土路48
電　話　0247-26-8092
Eメール　jinmizuno@nifty.com
H　P　https://www.kaneban.jp
創　業　2005年3月
事業内容　製造業



独居でも明るく美しく、訪問型見守り美容で安心元気な毎日を

齋藤さんは、自身が持つ美容師と介護福祉士という二つの資格を活かし、高齢者向けの訪問美容サービスを展開しています。独居高齢者の孤立死を防ぐだけでなく、整容・美容の提供を通じて心の支えとなることで、高齢者の生活の質向上を目指します。2025年問題を見据え、フォーマルサービスで補えない部分をカバーする事業です。今後は見守り訪問美容を一層本格化させ、高齢者が安心して暮らせる環境作りへ貢献していきます。

訪問型介護美容　こころ庵　齋藤 美希さん

活動エリア　伊達郡、福島市、二本松市
電　話　080-1394-5197
Eメール　kokoroan.cb@gmail.com
創　業　2024年4月
事業内容　訪問型高齢者特化美容



福島原発被災地からの個人向けアーカイブのススメ

東日本大震災で家を失った経験から、松本さんは個人向けアーカイブの重要性を認識しました。そこでFiveStarを立ち上げ、福島原発被災地の記録保存を目的とした映像・ドローン撮影事業を展開しています。過疎化が進む地域の歴史や思い出を未来へ残すことを目的に、復興記録業務やメディア撮影のほか、ドローンスクール運営やWeb制作など多角的に事業を展開しています。失う前に未来へ記録を残す取り組みの普及を目指しています。

株式会社FiveStar　代表取締役　松本　淳さん

住　所　〒979-0512 楢葉町大字山田浜字シウ神山7-16
電　話　0246-51-6150
Eメール　fivestar@fivestar-iwaki.com
H　P　https://www.fivestar-iwaki.com
創　業　2015年8月
事業内容　映像写真撮影・動画編集・ドローン撮影・ドローン測量など



自分の準備は自分でするホテル予約サイト「WAGADE」

村井さんは、ホテル業界の予約管理経験を活かし、「WAGADE」という予約サイトを立案しました。このサイトから予約した宿泊者がベッドメイクやアメニティ持参を行うことで、清掃負担の軽減と宿泊施設の稼働率向上につなげ、宿泊業界の人手不足の解決と宿泊費の低価格化を目指します。サイト独自のルールで環境負荷を軽減し、持続可能な宿泊スタイルを提案します。2026年のサービス開始を目標に、地元企業や大学と連携し、システム開発を進めています。

村井 真理奈さん

住　所　会津若松市
電　話　070-9020-6343
Eメール　marina002627@gmail.com
創　業　2026年ごろ創業予定
事業内容　宿泊業

応募者一覧

ふくしまベンチャーアワード2024にご応募いただいた皆さんをご紹介します。
（掲載辞退された方を除く）

（順不同）

応募者	プランタイトル	地域	
マルナゲカンリ株式会社 西澤 正文	マルナゲカンリのBPO：士業事務所×BPOで 経営者の手間をゼロに	東京都	
合同会社BOOL 土田 広大	満足度に特化した人気の写真館を目指して	いわき市	いわき
oystar 鈴木 祐太	牡蠣養殖の副産物「偽糞」を活用した 循環型環境ソリューション	東京都	
薄井　介	福島県内において廃校を活用し現代アート美術館の運営	郡山市	県中
知財開発流通企画 薄井 介	2023年11月、特許取得をした、 支柱太陽光発電装置これの事業化普及に向けて。	郡山市	県中
合同会社アドベント 佐藤 邦人	「フク島TT」磐梯山麓ツーリングラリー 2025 開催	福島市	県北
ととかか 五十嵐 寛樹	パンから始まる健康意識改革	須賀川市	県中
株式会社UBeing 福島 大喜	umaiNaの利用で福島県の減塩食も美味しく健康に: デバイス販売とデバイス体験イベント事業	愛知県	
特定非営利活動法人 勇者を創る勇者たち 岡野　誠	「教育の出口」と「社会の入口」を繋ぐ 夢活冒険学校とその大人たち	郡山市	県中
エシカルトレードふくしま 酒井　淳	寄付付き福島県産・水産物のECサイト	埼玉県	
後藤 俊典	訪日外国人6,000万人のための“デジタルチップ『GratiPay』” ①スマホでQRコード（アプリ不要）を読み込むだけの簡単操作。②感謝をその場で、キャッシュレスで届ける	東京都	
デナリウス 岡村 尚紀	リアルとオンラインの融合で広げる！ 関係人口創出プロジェクト！	大阪府	
ForOne 渡辺 勝弥	福島県の新規事業家の脳の仕組みをDB化するサービス	二本松市	県北
NPO法人 光と水の研究室 長坂 雄司	光に抗酸化作用を持たせることに成功した。	二本松市	県北
鴫原 寛伊	大学生のアイデアで中小企業の新卒採用力UP、 若手人材の流出を食い止める	二本松市	県北
株式会社ジン 神野 一喜	人材で福島の元気を応援	伊達市	県北

応募者一覧

ふくしまベンチャーアワード2024に
ご応募いただいた皆さんをご紹介します。
（掲載辞退された方を除く）

（順不同）

応募者	プランタイトル	地域	
株式会社フジワラプレス 藤原 一裕	地域創生・移住定住促進業務	郡山市	県中
森　徳弘	賢さ育む知育玩具「kicoのかくれんぼ」で 応用力を身に付けよう	南会津町	会津
石原 弥生	個人の人生・夢達成を応援するコーチング業	矢吹町	県南
シープテイルス株式会社 安達 真一	世界の昆虫工場	福島市	県北
Omiisay株式会社 カナダ マイカ	福島県の飲食店や名店を、ロンドン進出	東京都	
株式会社masterpeace 窪田　篤	ふくしま地域人材バンク （県内の個人と企業が協働して、未来志向事業を共創する）	東京都	
影山 一也	山木屋から食で笑顔を	川俣町	県北
一般社団法人アイプロデュース 渡辺 明美	多様なコミュニティの連携で作る持続可能な地域づくり事業	福島市	県北
Felis株式会社 熊田 舞弥	福島県をもっと身近に「ぼーぼいプロジェクト」	いわき市	いわき
株式会社StoD 能勢 航羽	ARを使用したデジダルギフトアプリ	会津若松市	会津
石浦 咲月	大学生が住み込み、空き家を民泊に。 宿泊客・インバウンドに福島の魅力をPR	石川県	
株式会社ニックファンズ 齋藤 久志	果樹農産物廃棄ロス削減を目指した 非常用防災備蓄シロップの開発事業	福島市	県北
株式会社いろいろアミューズメントサービス （わんぱくズKomm！）　後藤 啓寿	ドッグスクールとトリミングサロンを兼ね備えた店舗 「わんぱくズkomm!」	福島市	県北
角打ちビストロ 蔵ひろ 朝倉 智洋	1次産業と定年後セカンドライフの創出。 そして、農業における事業継承問題の解決	福島市	県北
株式会社rope 佐藤 稜太	最高の映像制作で地域活性化を！	須賀川市	県中
こびとの森 酒井 千春	心に残るファンタジーの森体験が次世代の自然を守る！ こびとの住む森が環境問題の鍵に	いわき市	いわき

福島県内の起業等を支援している施設のご案内

各施設では、福島県内で起業を希望される方、起業して間もない方の相談を受け付けております。
また、低廉な料金で利用できるオフィス（インキュベート施設）やコワーキングスペースもあります。

福島駅西口インキュベートルーム



住　所　〒960-8053　福島市三河南町1-20　コラッセふくしま6階
電　話　024-525-4048　Eメール　info@incu.jp　HP　https://www.incu.jp
設置者　福島県　運営者　福島県コワーキングスペース協同組合
設備概要　個室5室・半個室12室・1年毎の更新審査があり、最長期間は2～5年・月額7,540円～51,540円・24時間利用可（全館休業日を除く）・会議室・ネット無料・IM常駐
特　長　福島駅西口のランドマーク「コラッセふくしま」内にあり、実績・信用度ともに抜群の施設です。県が設置しているという信頼性と、民間運営による機動性を兼ね備えています。平日は日中、常時見学可能です。
PR　コラッセふくしまには、福島県観光物産館、福島商工会議所、福島県中小企業団体中央会、福島県信用保証協会、福島市クリエイティブビジネスサロンなどが設置されており「産業支援の入口から出口まで」のワンストップサービスが受けられます。

福島県大町起業支援館



住　所　〒960-8041　福島市大町4-15　チェンバおおまち5階
電　話　024-522-5800　Eメール　incu@aioros.ocn.ne.jp
HP　https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/oomachi/
設置者/運営者　福島県
設備概要　個室6室・1年毎に更新審査があり、最長期間は8年・月額21,330円～82,410円
特　長　産業支援サービス業として成長が期待されるカスタマーセンター業関連を対象とし、地元雇用の創出などにより本県地域経済の活性化に資することを目的としています。
PR　福島駅まで徒歩9分とアクセス面も良好な福島市内のビジネス街にある施設です。施設はカードキーによる入退館管理、受付職員の配置などセキュリティ面も充実しています。共有で会議室や給湯室を利用することができます。

福島市クリエイティブビジネスサロン



住　所　〒960-8053　福島市三河南町1-20　コラッセふくしま2F
電　話　024-572-4130　Eメール　info@fcbs.jp　HP　https://fcbs.jp
設置者　福島市　運営者　株式会社OMJプラザ
設備概要　コワーキングスペース60席（1時間200円～・1ヶ月10,000円・1年60,000円）・シェアオフィス8部屋（1ヶ月45,000円～）・会議室2部屋（1時間300円～）・ネット無料・電子レンジ・冷蔵庫・ドリンク販売・モバイルバッテリー貸出・複合機・マッサージチェア・ポスト・ロッカー・プロジェクター・貸しディスプレイ
特　長　毎日朝9時から19時まで営業しており、どなたでもご利用できる施設で、起業家、リモートワーカー、出張の方など多くの方に利用いただいております。JR福島駅から徒歩3分のコラッセふくしま2階にあり、空港の高級ラウンジのような落ち着いた雰囲気のコワーキングスペースで、出張で福島に来た方にも多く利用していただいております。
PR　会社に必要なインフラが揃っておりますので、PCひとつあればお仕事をすることができます。また、貸しポストがありますので、登記登録ができます。女性起業家や、株式を作ろうとしている方に大変人気のサービスです。館内にはソファースペース、マッサージチェアなどが設置されており仕事の合間の休憩に使用できます。仕事だけでなく資格勉強などでもご利用できますのでお気軽にご利用ください。

郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター



住　所　〒963-1165　郡山市田村町徳定字中河原1-1
電　話　024-926-0344　Eメール　monodukuri@nm.net6.or.jp
HP　https://www.techno-media.net6.or.jp/incubation/index.php
設置者/運営者　公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構
設備概要　実験室タイプ2室・事務室タイプ9室・1年毎に延長審査あり原則最長5年・月額23,700円～66,360円・24時間365日利用可・ドラフトチャンバー排気設備完備（実験室タイプ）・試作センター・会議室（40人収容可）・展示コーナー・駐車場3,000円/月・IM常駐・管理員常駐
特　長　日本大学工学部キャンパス内にある、セキュリティーシステム完備の施設です。起業支援室の提供や試作センターの貸出し等、研究開発から事業化まで一貫した起業支援を行っています。
PR　日本大学と企業間における産学連携等の相談に対応しています。またマシニングセンタや工作機械および定格荷重1tの天井クレーンを備えた防音施工の試作センターを併設しており、試作品等の製作など、どなたでも活用いただけます。

次のページへ続きます ⇨

コワーキング & イベントスペース co-ba koriyama



住所	〒963-8023 郡山市緑町9-12
電話	024-922-1377 Eメール info.coba.koriyama@gmail.com
HP	https://co-ba.net/koriyama/
設置者/運営者	一般社団法人グロウイングクラウド
設備概要	コワーキングスペース30席（1年毎自動更新）・月額8,800円～16,500円・利用時間9:00～18:00（平日）・ 登記プラン有・1DAY利用可・電源・コイン式複合機・プロジェクター・ホワイトボード・冷蔵庫・電子レンジ・バリスタ・ セミナールーム（50人収容可）・ネット無料・駐車場有・IM常駐
特長	平日9時から18時まではコワーキングスペースとして、夜間と土日祝日は事前予約で貸し切り利用が可能です。 起業家はもちろん、リモートワーカーや将来の夢を持った学生など多様な人々のチャレンジを応援しています。
PR	仕事利用の方はもちろん、シニアやライターなどのコミュニティを作っている方、パソコンや書道、英語の教室を開いている方など さまざまな業種の方が利用されており、地域の多様な方と出会えるスペースです。ぜひお気軽にご利用ください。

白河市産業プラザ 産業支援センター 起業支援室



住所	〒961-0957 白河市道場小路96-5
電話	0248-21-8995 Eメール sunport@train.ocn.ne.jp HP https://sangyo-support.jp
設置者	白河市 運営者 一般社団法人産業サポート白河
設備概要	個室2室・会議室・給湯室（共用）・24時間365日利用可・ 最長3年（1年毎の更新可）・月額29,630円（駐車場1台分込、電気代別）
特長	白河市立図書館に併設された産業支援センター内のインキュベートルームです。会議室も自由にご利用いただけます。 JR白河駅前、そして白河中央スマートICから車で約7分という、アクセスの良さも魅力です。
PR	産業サポート白河のインキュベーションマネジャーが各関係機関と連携して起業者を支援します。 起業支援室入居者に限らず、起業相談、経営相談、各種支援制度申請等、相談ご希望の方はご連絡ください。

ラ・クリエーションプラス



住所	〒961-0053 白河市中田140 白河市産業プラザ人材育成センター内
電話	0248-22-3512（人材育成センター）・0248-21-7361（一般社団法人産業サポート白河）
HP	https://lacreation-plus.jcld.jp
設置者	白河市 運営者 一般社団法人産業サポート白河
設備概要	コワーキングスペース（月会員5,000円、1日1,000円、時間単位200円、商業登記月額4,000円、 郵便受取サービス月額1,000円）・キッチンスペース（月額10,000円で最長1年間営業ができる）・入居審査あり
特長	ラ・クリエーションプラスには、予約サイトへ会員登録することで、どなたでも利用できるコワーキングスペースと、営業にチャレンジできるキッチンスペースがあります。また、撮影や4人程度の会議等に利用できるスタジオも併設されています。
PR	キッチンスペース利用ご希望の方には、利用申請のための書類づくりから入居後の事業化まで産業サポート白河のインキュベーション・マネージャーや相談員が支援します。施設の見学は随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

相双ビジネスインキュベートセンター



住所	〒975-0006 南相馬市原町区橋本町1-52-5
電話	0244-22-4200 Eメール vst@joban.co.jp
設置者/運営者	特定非営利活動法人福島県ベンチャー・SOHO・テレワーカー共働機構 相双支部
設備概要	個室4室・月額と入居可能期間は応相談・ミーティングルーム・ネット無料・駐車場有・IM常駐
特長	最寄駅のJR原ノ町駅から車で4分の、南相馬市の中心市街地にあるインキュベートセンターです。 ビジネス用事務機はもちろん、各種IT機材（FreeWi-Fi、PC：windows/mac、iPad等）の利用も可能な施設です。
PR	各種相談対応を随時行っております。当地域で新規にビジネスを始めたい方や、始めたばかりの方は、ぜひ気軽にご相談下さい。 地域で頑張る方々を応援いたします。

株式会社ゆめサポート南相馬



住所	〒975-0036 南相馬市原町区萱浜字巣掛場45-245 南相馬市産業創造センターB棟内
電話	0244-25-3310 Eメール info@yumesupport.co.jp
HP	https://www.yumesupport.co.jp/
設置者/運営者	株式会社ゆめサポート南相馬
設備概要	工場4区画（A棟）・事務所各棟8区画ずつ（A棟・B棟）・月額（工場区画：206,800円・事務所区画：42,100円～81,900円）・ 工場区画最長10年、事務所区画最長5年（1年毎の更新有）・ネット無料・駐車場有・IM常駐
特長	当社が運営に携わっている南相馬市産業創造センターでは、福島県では珍しい貸工場がある施設です。 県外から多くのベンチャー企業が入居しています。施設の中に当社があり、各種サービスを提供しています。
PR	南相馬市内で新たに事業を始める方や事業を始めて間もない方、市内事業所の経営相談等、気軽にご相談ください。 産学官連携コーディネート、ビジネスマッチングなど、地域で頑張る方を応援致します。

大熊インキュベーションセンター



住所	〒979-1308 大熊町下野上清水230
電話	0240-23-7721 Eメール info@okuma-ic.jp HP https://okuma-ic.jp
設置者	大熊町 運営者 ビジネスゲートウェイ株式会社
設備概要	貸事務所9室（月額：町内31,500円/町外47,250円）・ シェアオフィス（月額：町内2,000円/町外3,000円）・入居可能期間3年・交流スペース・ コワーキングスペース・貸会議室・ネット無料・駐車場有・IM常駐
特長	大野小学校が起業支援拠点として生まれ変わった施設です。研究・開発の場として、将来的な事業化と町内への事業所・工場立地に向けたステップアップを目指して、 中期的に大熊町に拠点を設置する事業者が入居しています。『交流スペース』は、どなたでも無料で自由に利用できるスペースです。『会議室』も貸出ししています。
PR	IMおよびコミュニティマネージャーが勤務し、補助金の申請や事業相談に対応。研究者起業家プログラム、若手起業家育成プログラム、セミナー、交流会など随時開催。

いわきインキュベーションルーム（IIR）



住所	〒970-8026 いわき市平字作町2-1-9 エスピル2階
電話	0246-35-1430 Eメール info@iwaki-liaison.co.jp
HP	https://www.iwaki-liaison.co.jp
設置者/運営者	いわきリエゾンオフィス企業組合
設備概要	机、フリースペース（会議スペース）・コピー機やプロジェクタなど廉価での機器レンタル有
特長	机やフリースペース中心で、オープンな雰囲気で気楽に利用できます。 起業家やNPOスタッフなどが利用中。（現在は満席のため募集していません。）
PR	2001年度よりいわき初のインキュベートルームとして開設。起業家支援の経験値も高く、現在は相談業務をメインに活動しています。 いわきビジネスプランコンテストを運営するスタッフが起業家の悩みに応えるなどのサポートが充実しています。（初回相談無料・要予約）

いわき産業創造館



創業者支援室



シェアオフィス

住所	〒970-8026 いわき市平字田町120 LATOV6階
電話	0246-21-7570 Eメール icsn@iwaki-sangakukan.com
HP	https://www.iwaki-sangakukan.com
設置者	いわき市 運営者 公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会
設備概要	個室4室/半個室7室・最長6年（1年毎に更新有）・月額13,930円～32,220円・ シェアオフィス28席（利用時間9:00～21:00 利用料3,300円/月、550円/日）・ ミーティングルーム・法人登記及び郵便物受取サービス有・IM常駐
特長	いわき駅前LATOV6階に設置されたインキュベート施設です。 インキュベーションマネージャーを中心に、一貫した事業化支援を受けることが出来ます。 また、スタートアップやフリーランサー、出張者などのビジネス拠点としてシェアオフィスを完備しています。
PR	いわき市で新たに事業を始めようとする方、新たに事業展開を考えている方はお気軽にご連絡ください。 あなたの夢の実現を応援いたします!

會津商人館（あいづあきんどかん） ※ 2025年リニューアル予定



住所	〒965-0871 会津若松市栄町1-20
電話	0242-27-0729 Eメール WEBサイト（右記QR）よりお問合せください
HP	https://shinmei-st.com/aizu-akindokan
設置者/運営者	神明通り商店街振興組合
設備概要	事務所4ブース・小売り等8ブース・飲食等3ブース・最長期間の定めなし（1年更新）・ 起業後5年以内程度を想定・月額35,000円～65,000円・ネット無料
特長	商店街の中にある創業支援施設です。館内には交流スペースや創業希望者などを対象にした低価格の貸店舗などが設けられています。振興組合では入居者を独立開業できる人材として育成し、商店街再活用につなげて参ります。
PR	アーケード完備の商店街の中心部に存在し、雨や雪に濡れずに、仕事、打ち合わせ、必要なモノの購入、食事などが可能な便利な施設です。商店街のベテラン経営者が経営に関してのアドバイスをしてくれるのも魅力です。

コミュニティステーション teco



住所	〒965-0871 会津若松市栄町7-2
電話	090-1931-5607 Eメール kanene@e200x.com
HP	https://m.facebook.com/aizunoteco
設置者/運営者	特定非営利活動法人 環境地域文化エナジー
設備概要	コワーキングスペース（30坪）・小規模のイベントや教室開催も可能・調理設備有り・ メールにて要予約・月額応相談・IM常駐
特長	起業者や移住希望者などが、仕事、イベント、教室を開催できる完全予約制のフリースペース。調理設備があり、飲食系で起業希望の方の試食会やイベントなどに使用することができます。作品や商材などの即売会なども開催可能です。
PR	予約が入った場合のみ開館するシステムで、利用料を安価に抑えております。市内の飲食店街の中に位置しており、使用後の懇親会や慰労会などを開催するにも便利です。すぐ近くに民間の大型有料駐車場があり、車で来られる方にも便利です。

西会津町テレワークセンター



住所	〒969-4406 （1号館）西会津町野沢字桜木前乙171-4 （2号館）西会津町野沢字諏訪西甲1023
電話	0241-45-2213 Eメール syokou@town.nishiaizu.fukushima.jp
HP	https://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/soshiki/6/799.html
設置者/運営者	西会津町
設備概要	個室7室・月額10,200円～24,650円（インターネット、光熱水費含む）・ 入居1年後に更新審査有・ネット無料・駐車場有
特長	中山間過疎地域においてインターネット等を活用し、地域ビジネスや起業家の育成を目的に、1号館、2号館合わせて個室が7室設置されています。
PR	西会津町全域でCATVを利用したICTの活用が可能。西会津ICが近く会津若松市まで20分、新潟市街まで1時間と交通の便も整っています。当センターでは、創業支援事業者と連携した窓口相談、創業塾など入居者のビジネスの支援を行っています。